

令和3年度 学校経営計画書

石川県立金沢中央高等学校

学校長 井波 充洋

1 教育目標

単位制総合学科の特徴を生かし、多くの体験活動をとおして「生きる力」を育み、次の教育目標を実現する。

- ①豊かな人間性と健やかな心身を育む。
- ②教養を高め、個々の生徒が将来必要な知識や技能を習得する。
- ③社会について広く理解し、社会の発展に寄与する態度を養う。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

① 多様な学習歴を持つ生徒の現状と課題

- ・確かな学力の定着を目指しながら、数多くの科目選択を可能にし、個に応じた支援を行っている。進学・就職両面において卒業後の生徒の自立を促すため、より一層進路支援体制の充実を図る必要がある。
- ・不登校や生活指導、学習指導面などに課題を抱える生徒へのきめの細かな支援を行っているものの、入学当初の思いが続かず進路変更する生徒が存在する。一人ひとりの課題と将来の目標を明らかにし、教職員の共通理解のもと更なる支援体制の充実を図る必要がある。

② 本校が目指す学校像

- ・組織的なキャリアガイダンスを推進し、単位制総合学科の特色を生かしながら、学力と個性を伸ばさせ、生徒の進路実現を支援する。
- ・社会の一員としての良識や規範意識を身につけさせ、安全安心な教育環境を堅持する。
- ・開かれた学校づくりを積極的に進めるとともに、保護者や地域に信頼される学校を目指す。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

① 心と体の健やかな成長のための取組目標

- ・教育活動全般をとおした道徳教育により心の成長を促し、特別活動、部活動等により保健指導、安全教育を充実し、心身両面の健康増進を図る。
- ・教育相談の充実により、生徒一人ひとりが持つ心の課題解決を図る。

② 確かな学力を身につけるための取組目標

- ・高校生としての基礎的な知識技能の習得を確実にするため、意欲的な授業参加を促すとともに、自ら考え主体的に行動する生徒を育成する。

③ 社会的自立を促すための取組目標

- ・「産業社会と人間」「総合的な探究（学習）の時間」等の内容を充実させ、望ましい勤労観・職業観を醸成するとともに、就労体験やボランティア活動への積極的な参加により、社会性やコミュニケーション能力を育む。

(3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

① PDCAサイクルを活用した学校組織力の向上

- ・教育目標達成のため常に評価・改善に組織的に取り組む。

② 中・長期的目標達成のための教職員の指導力の向上

- ・指導法や評価法を工夫・改善し、教育活動全般の指導力向上を目指す。

③ 家庭・地域・関係機関との連携強化

- ・生徒のニーズや保護者の思いを把握し、関係機関と連携して適切な支援を行う。

④ 業務改善とワークライフバランスの推進

- ・資質向上および業務の精選と改善に心がけ、ワークライフバランスを推進する。

3 今年度の重点目標

- ① 生徒の実情に応じた学び直しによる基礎学力の定着を確かなものとするとともに、ICT活用、アクティブラーニング、ユニバーサルデザイン化等を推進することで学力向上を図る。
- ② 卒業までを見通したキャリア教育に組織的に取り組み、生徒の希望進路を実現する。
- ③ 規範意識の育成、教育支援の充実、外部機関との連携により安全安心な学校づくりを推進する。
- ④ スポーツ活動や文化活動、ボランティア活動等をとおして自主・自立・助け合いの精神を備えた活力ある生徒を育成する。
- ⑤ 発達障害による困難を抱える生徒を対象に通級指導などによる自立支援活動をとおして、自尊感情を高めるとともに障害の改善または克服を目指す。